

2025.3.22

## 合気道の成り立ちから現在まで ver.1

廿日市合気道クラブ

### 1. 合気道誕生以前

#### 1) 合気道のルーツ：大東流合気柔術

- \* 約1,000年以上前から会津藩（福島県）に伝えられた武術

- \* 武田惣角（1859-1943年）によって近代に広められた

#### 2) 植芝盛平の武道遍歴

- \* 1883年、和歌山県田辺市生まれ

- \* 幼少期から柔道、剣道、槍術など様々な武術を学ぶ

- \* 天神真楊流柔術や柳生流剣術、宝蔵院流槍術の影響を受ける

- \* 1911年、北海道で武田惣角に出会い、大東流合気柔術を学ぶ

- \* 大東流合気柔術の奥義を極め、惣角から免許皆伝を受ける

## 2. 合気道の創始

### 1) 精神的な影響：大本教との出会い

- \* 1919年、出口王仁三郎が主宰する大本教に入信
- \* 大本教の「万有愛護」「和合」の思想に深く感銘を受ける
- \* 武道の追求と並行して、精神的な修行にも励む
- \* この精神性が、合気道の「和合」の思想の基礎となる

### 2) 独自の武道体系の確立

- \* 大東流合気柔術を基盤に、様々な武術の要素と精神性を融合
- \* 大正末期から昭和初期にかけて、独自の武道体系を創出
- \* 当初は「植芝流合気武道」「皇武道」などと称していた
- \* 1942年、「合気道」と命名

### 3) 開祖植芝盛平の思想

- \* 武道と精神性の融合、争わない武道、万有愛護、人間形成

### 3. 合気道の思想と特徴

#### 1) 「和合」の思想

- \* 相手との力比べを避け、相手の力を利用する
- \* 体の動きや呼吸を調和させ、相手を制する
- \* 争いを避け、平和を希求する精神を体現

#### 2) 技の特徴

- \* 相手の攻撃を無理に受け止めず、受け流す
- \* 体捌きや体の転換などにより、相手の体勢を崩す
- \* 関節技、投げ技、抑え技などを組み合わせ、相手を制する
- \* 武器術（剣、杖、短刀）により、体術との相乗効果を高める

#### 3) 心身の鍛錬と人間性の向上

- \* 単なる護身術ではなく、稽古を通じて心身を鍛える
- \* 礼儀作法や相手を尊重する心を養う
- \* 武道の追求を通じ、人間としての成長を目指す

## 4. 合気道の普及と発展

### 1) 戦後の普及活動と国際的な広がり

- \* 1948年「合気会」設立、発展の中心的な組織として活動
- \* 盛平翁の没後も、弟子たちが国内外に合気道を広める
- \* 現在、140カ国以上に約150万人の愛好者がいる
- \* 吉祥丸（二代道主）の功績、近代化や国際的な普及に尽力

### 2) 合気道の継承

- \* 創始した植芝家を中心に継承（盛平、吉祥丸、守央）
- \* 盛平翁の合気道観は複雑で、弟子が均質に理解するのは困難
- \* 弟子たちは独自の考えで合気道を実践
- \* 流派は存在しないが、実際には異なる合気道観が存在

### 3) 主な直弟子たちの活躍

- \* 藤平光一：氣の概念      \* 塩田剛三：実戦的な合気道を追求
- \* 富木謙治：合気道の競技化      \* 西尾昭二：独自の合気道を提唱
- \* 斉藤守弘：開祖の技法を忠実に継承、武産合気として体系化

#### 4) 合気道の主な団体

\* 公益財団法人合気会 :

開祖・初代道主の植芝盛平を継承する最大組織

二代道主 : 吉祥丸、三代道主 : 守央、本部道場長 : 充央

合気会 → 広島県連盟 → 広島合気会 → 廿日市合気道クラブ

\* 養神館合気道 : 塩田剛三が創始した団体

\* 心身統一合気道 : 藤平光一が創始した団体

\* 岩間神信合気修練会 : 齊藤守弘の息子の仁弘が主宰する団体

#### 5) 西尾昭二の合気道

\* 柔道、空手などの武道経験を活かし、合気道の実戦性を追求

\* ヨーロッパやアメリカなどでも指導、国際的に高く評価される

\* 独自の解釈による技法は「西尾流」と呼ばれることがある

\* 自身が主催する団体を持たない

\* 正当な継承者がいない

## 5. 現代における合気道

### 1) 多様な側面を持つ武道

- \* 武道としての側面：技の修練、護身術
- \* 健康法としての側面：体力向上、ストレス解消
- \* 精神的な鍛錬法としての側面：集中力や精神力の向上
- \* 体力や運動に自信がない人でも自分のペースで稽古できる
- \* 高齢者や女性も無理なく続けられる

### 2) 合気道から得られるもの

- \* 礼儀作法、相手を尊重する心
- \* 心身の調和、自己肯定感
- \* 国際的な交流、異文化の理解、世界平和の探求

### 3) 今後の展望

- \* 伝統を継承しつつ、現代社会に合わせた発展を目指す
- \* 合気道の理念を広め、平和な社会の実現に貢献する
- \* 次世代への継承が重要な課題である